



RESPONSIVE'S  
RULE

2017.9.10

## 00. 全体の進行について

レスポンスは、ディレクターから seisaku@宛に依頼が来ません。  
ですので、下記3パターンが着手のタイミングになります。

### elle ディレクターと事前に打ち合わせして制作日をきめる

初回打ち合わせの時に「レスポンスいつでもいいよー」と言われるパターン。  
その場合はお言葉に甘えて、写真差し替えの後にスケジュールを設定しましょう。  
この時点でスプレッドシートに事前に予定を入れておくと良いです。

### elle タイミングを見て自己判断でやる

ディレクターとレスポンスの打ち合わせを忘れた時のパターン。  
この場合も、写真差し替えの後にスケジュールを設定しましょう。  
自分でスプレッドシートに予定を入れておいてください。

### elle 急に依頼がくる

事前に打ち合わせをしていたとしても、ディレクターから急に依頼がくる場合があります。  
その場合は指示に従ってレスポンス対応を行います。その後修正があるたびにレスポンス  
もちょこちょこ確認しないといけなくなるので注意してください。

---

## 00. というかデザインはどうしたらいいの…？

レスポンスは基本的にはデザイナーはノータッチなので、デザイン案の提出はありません。  
元のデザインをある程度活かしつつ、見やすく使いやすいサイトを作ってください。  
もし詰まった場合は、デザイナーに相談して進めてください。

## 01. viewport を設定する

```
<meta name="viewport" content="width=1200px,user-scalable=yes" />
```

現在こうなっているのを削除して、代わりに下記のように設定します。

```
<meta name="viewport" content="width=device-width,user-scalable=yes">
```

## 02. レスポンシブ用の CSS を 2 つ読み込む

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/sp_common.css" media="all" />
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/sp.css" media="all" />
```

この 2 行をテンプレートに読み込みます。場所は style.css の下です (style を上書きする為)。

### ele sp.css の書き方

sp.css を書き直して、レスポンシブ対応にしていきます。

style.css をコピーして作っても構いませんが、style と重複する css は全て削除します。

style.css を元に sp.css へレスポンシブ用の css を追加し上書きするという認識でいてください。

#### PC の時はこれ

```
.samplecss {
  width:100%;
  height:500px;
  margin:20px 30px;
  text-align:center;
  line-height:2.4;
}
```

#### RP の時はこうしたい

```
.samplecss {
  width:auto;
  height:500px;
  margin:0 auto;
  text-align:center;
  line-height:1.8;
}
```

#### したら sp.css はこう書く

```
.samplecss {
  width:auto;
  margin:0 auto;
  line-height:1.8;
}
```

重複してる箇所は書かなくても反映される為です

## 02. レスポンシブ用の CSS を 2 つ読み込む

### le sp\_common.css の使い方

基本的に sp\_common は触らないこと。

sp\_common.css に設定されていて、よく使うものは以下です。

- .pc : pc だけで表示したいブロック要素
- .sp : sp だけで表示したいブロック要素
- .pc\_inline : pc だけで表示したいインライン要素
- .sp\_inline : sp だけで表示したいインライン要素

640px 以下にしたら（スマホで見たら）改行したい時

```
<p> 中野さんは夜になると <br class="sp_inline"> お菓子を食べる </p>
```

更新作業漏れの原因になるので、丸々全部 pc や sp で囲むのは出来る限り控えてください。

---

## 03. メディアクエリの設定について

sp.css には以下が設定されています。

```
@media screen and (max-width:640px) {
```

対応する端末は、640 以下のもの（iPhone・Android）です。

スマートフォンを横にした時は、パソコン画面で見えるものが出ようになります。

タブレット用の対応は基本行っていませんが、イレギュラーとして対応する場合があります。

その他、320px 以下の対応など必要であれば適宜対応してください。

## 04. レスポンシブ対応にあたって

### 幅・高さの単位はなるべく統一しましょう

レイアウト崩れの原因となるので、幅・高さの単位はなるべく統一してください。  
もし状況により単位を統一できない場合は、box-sizing を使用して対応してください。

◎ 良い例

```
#contents {
    width:94%;
    margin:0 3%;
}
```

× 悪い例

```
#contents {
    width:94%;
    margin: 0 20px ;
}
```

#### box-sizing を使うこと

```
#contents {
    width:94%;
    margin:0 3%;
    padding: 10px;
    box-sizing:border-box;
}
```

### よくあるレイアウト崩れ

- ・コンテンツの中にあるオブジェクトの横幅が、端末の横幅よりも大きい
- ・テーブルの中身を含めた横幅が、端末の横幅よりも大きい
- ・white-space:nowrap; を使っているため改行されずに文字が飛び出す

### retina 対応について

そもそも retina 対応って何? という方はお勉強です。【<http://biancaweb.net/blog/retina/>】  
具体的には以下のように対策をしてください。

- ・ロゴは、なるべく SVG で書き出す
- ・写真やイラストは、2 倍サイズのを縮小して表示
- ・文字の画像やアイコン等のベクターのデータは、なるべく SVG で制作
- ・h3 等が画像で作られていて且つテキストに置き換えが可能な場合は、.pc で画像の h3 を非表示、テキストを .sp で表示させるなどして対策

#### h3 が画像だった時の対策例

```
<h3 class="pc"></h3>
<h3 class="sp"> 中野さんが好きなお菓子は硬揚げポテトだ </h3>
```

## 05. 完成したらディレクターへ納品

最初の数件は、他のコーダーにチェックしてもらうようにしてください。

### elle 納品について

サーバーに UP して URL をディレクターへ送ります。

普段 UP している、「http://heroxxx.xsrv.jp/ 案件名 URL/HP/」に上書きしてください。

### elle 納品時のメールテンプレートについて

差出人： xxx@hero-innovation.com ← 自分のアドレス  
 件名： xxx 様 レスポンス対応完了しました ← クリニック名  
 宛先： xxx@hero-innovation.com ← ディレクターのアドレス

xxx さん ← ディレクター名

お疲れ様です。

xxxx 様のレスポンス対応が完了しました。 ← クリニック名

下記テスト URL よりご覧ください。

【xxxx 様】 ← クリニック名

URLURL ← http://~/~/HP/

ご確認のほど、よろしくお願いいたします。

xxx ← 自分の苗字

## 06. ディレクターが先生とやりとり

稀に数ヶ月放置されることがあります。その場合はスケジュール管理者へ連絡を入れてください。

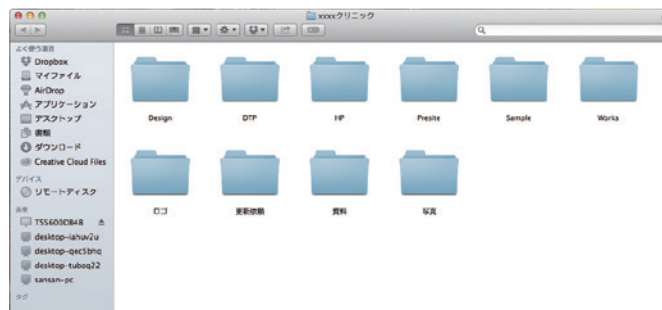
# 07. レスポンシブ完了・サーバーへ格納・作業完了

## サーバーへの格納について

普段格納している

案件名 /HP/ に上書きしてください。

また、新規に制作したものや使用した素材があれば、資料や Works に入れて共有してください。



## 作業完了

以上でコーディングのお仕事は終了です。

このあとの運びは、WEB コーディングルールをご覧ください。